

リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立姫島小学校（大阪府）【指定校】

【取組内容】 Google ドライブ™ で伝達及び共有の円滑化 1

④校務DX（標準仕様とクラウドを活用し、教員の働き方改革につなげる取組）

Google ドライブ™ を利用して校務DXを推進！

DX
前

紙ベースや校務支援システム※では校内資料の保管と引き継ぎの効率が悪かった。

※大阪市では、学習系と校務系の2つのネットワークを構築。児童の個人情報など機微な情報は校務系ネットワーク内の校務支援システムで管理。セキュリティ強化のため端末ログイン後、さらに認証が必要。

● 資料の検索・閲覧に時間がかかる

→個人情報に関わらない資料でも、たどり着くまでのステップが多く、煩雑。

→ファイル名にタグ付けしていない単語は検索にかからない。PDFや画像内の単語も検索不可。

DX
後

Google ドライブの利用によるメリット

● 普段使用しているプラットフォームからアクセス可能

PCを立ち上げればすぐに利用可能。

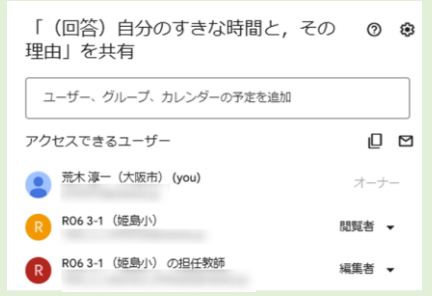
● 必要な資料の検索が容易

ファイル名だけでなく、ファイルの本文やPDF、画像内の文字についても認識し、検索可能。



● 共有権限の設定により、同時編集が可能（次ページに詳細）

共有権限を任意の教員やグループに対して「編集者」としておくことで、共同編集が可能。また、誤って削除されることを防ぐために「閲覧者」で運用する場合も。



教職員の反応



資料にたどり着くまでの時間が短縮されたので、校閲や共同編集にかけられる時間が増えました。



関連する単語で検索をかければ、必要な資料に即座にアクセスできて便利です。過去の資料も見つかるので、参考にしやすいです。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立姫島小学校（大阪府）【指定校】

【取組内容】 Google ドライブ™ で伝達及び共有の円滑化 2

④校務DX（標準仕様とクラウドを活用し、教員の働き方改革につなげる取組）

Google ドライブ™を利用して校務DXを推進2

DX
前

紙ベースや校務支援システム上では校内資料の作成と編集の効率が悪かった。

※大阪市では、学習系と校務系の2つのネットワークを構築。児童の個人情報など機微な情報は校務系ネットワーク内の校務支援システムで管理。セキュリティ強化のため端末ログイン後、さらに認証が必要。

● 共同編集ができない

→同一ファイルを同時に開くことができない。

開いたタイミングによっては、別の教職員が更新したファイルを上書きして更新してしまうリスクもある。

教職員の反応

これまでは履歴を残すために、同じ案件データが複数あり、最新のデータを探すのに苦労しました。クラウドを活用すると一つのデータを共同で編集できるので、データが嵩張らないので便利です。

校務分掌内で共同編集する際に、部内でタイミングを合わせる必要がなく、自分のタイミングで作業ができます。

DX
後



Google ドライブの利用によるメリット

1 同一ファイルをいつでも同時に編集可能

同一ファイルに同時にアクセスできるため、作成や編集の順番を待つ必要がない。同時編集中の他者が、どの箇所を編集中心か表示される。クラウドで作業するため、同じ空間にいる必要もない。

2 コメント機能で会議前に意見を添付

事前に会議資料にコメントをつけることで、意見や質問の全体共有が可能。会議時間の短縮にもつながる。



3 会議の案件を検討中に編集

職員会議などの案件は、全体で同じファイルを見ながら随時編集ができるため、会議中に最新のものへと編集が完了する。誤って変更した場合も、履歴を遡ることで、以前のデータを復元することができる。